公益財団法人 ホソカワ粉体工学振興財団
Hosokawa Powder Technology Foundation
〒573-1132 大阪府枚方市招提田近1丁目9番地; Shoudai-Tajika 1-9, Hirakata, Osaka, 573-1132 JAPAN
[TEL] +81-72-867-1686 [FAX]+81-72-867-1658 [E-mail] contact_zainq@hmc.hosokawa.com [URL] https://www.kona.or.jp

第 4 回国際ホソカワ粉体工学シンポジウムをドイツで開催

【日　時】　2023(令和5)年9月14日（木）　午前9時～午後16時45分
【場　所】　The Hotel Dorint an der Kongresshalle Augsburg Germany
【テーマ】　Sustainable production of functional particles
【主　催】　（公財）ホソカワ粉体工学振興財団
【共催／後援】　KONA Europe e.V.／ホソカワアルピネ AG

9 月 14 日「第 4 回国際ホソカワ粉体工学シンポジウム」が、ホソカワ粉体工学振興財団による主催、当財団が発行している学術誌 KONA 誌の欧州・アフリカブロックの事務局である KONA Europe e.V.並びにホソカワアルピネ AG 社の共催・後援により、ドリント アンデル コングレスハーレ　ホテル（ドイツ/アウクスブルク市）にて開催されました。
国際ホソカワ粉体工学シンポジウムは、当財団 20 周年を記念して 2014 年にホソカワアルピネ社にて第 1 回が開催され、その後 2017 年にアメリカ、2019 年に中国で開催され今回は第 4 回目の開催と成りました。

細川晃平社長のウェルカムスピーチ

講演会風景

講演冒頭、当財団の理事であり、ホソカワミクロン社代表取締役　細川晃平社長よりのウェルカムスピーチから始まり、「機能性粒子の持続可能な生産」をテーマとして、学術研究者による概説と共に様々な企業とのコラボレーションによる 8 件の講演が行われました。
講演では、昨今話題と成っている細胞培地の連続生産設備による培養肉生産の将来性や、大豆タンパク質からプロテインを効率的に抽出する乾式・湿式技術の紹介、リチウムイオン電池のリサイクル技術と設備の紹介、レアアース

公益財団法人 ホソカワ粉体工学振興財団
Hosokawa Powder Technology Foundation
〒573-1132 大阪府枚方市招提田近1丁目9番地; Shoudai-Tajika 1-9, Hirakata, Osaka, 573-1132 JAPAN
[TEL] +81-72-867-1686 [FAX]+81-72-867-1658 [E-mail] contact_zainq@hmc.hosokawa.com [URL] https://www.kona.or.jp

渡邉晃技術開発部長の講演風景

休憩風景

の加工技術とネオジム磁石の性能との関係、二次電池材料として重要なグラファイトの新しい球形化設備の紹介並びに、日本のホソカワミクロン社の渡邉晃技術開発部長による、日本とドイツとの地政学的並びに文化的違いによる考え方の違いと日本での二次電池材料製造設備の変遷についての考察が紹介され、講演はホソカワアルピネ AG 社フェルナンデス社長による閉会挨拶で終了した。

今回の講演会には、主催地のドイツを始めとして、オランダ・リトアニア等様々な国から参加者が来場され、講演会前日に開催された、歓迎セレモニーでは、顧客よりの様々な要望に応える事が出来るホソカワアルピネ AG 社のテストセンターと、生産ラインをアプリケーション別に効率良く整備された工場の見学が行われ、その後アウクスブルク市内ツアーとドイツビール工場に隣接しているビアホールでドイツビールを堪能しながら、国際交流がはかられました。